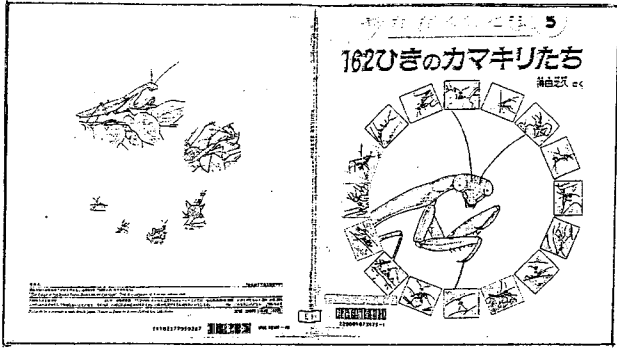


子どもたちといっしょに

「162ひきのカマキリたち」
月刊のむくのともし
得田之久さく(福音館書店)



2年前に、この本が出た時
遠い日思い出しました。
ある日帰宅して、窓を開けよ
うとしたら、何と、レースの
カーテンに、みどり色の小
いカマキリが、びらりへばりついていたのです。そういえば「カマキリの卵」
と言って息子が嬉しそうに持ち帰って来て、その辺に置いておいたのを思
い出し、「あ、あれだ!」と、小さくても、立派なカマキリの卵を、真剣な様
子でカーテンにしがみついている彼らが、いとおしくてたまらなくなりました。
窓を開けて、その風の中に彼らを送り出してやりましたか、その後、彼らは、
この絵本のような運命をたどったのかな?と改めて考えさせられました。
ご家族で、ぜひ、お読み下さい。

（お知らせ）

山田洋次監督講演会(10月26日土曜日) 清水真砂子さん「ゲド戦記」を語る
「男はつらいよ」の寅さん、釣川が日記の浜 1月26日(日)於ラスベックホール(白根学館)
ちゃん(シナリオ担当)から、学校シリーズまで、ゲド戦記の5巻目を訳している真・最中
ゆかい、人情にあふれた映画を撮影続 清水さん。そのお仕事を終えてから、1月26日
けている氏のお話聴いてみませんか? に白根で講演をして下さいませ、楽しみ!

しろね図書館だより

No. 29

発行 白根市立図書館
平成14年10月1日

言い古された事ですが、「読書の秋」になりました。気候も体には丁度よく、ゆ
っくり好きな書物に向き合うのも、この時ならではのことでしょう。さて、
当図書館も、新館開館して、3年目に入り、皆さまのご利用も、どんど
増え、嬉しく仕事に精を出している毎日です。職員一同、ご利用いただい
ている皆さまのご要望には、出来るだけお応えしていきたいと思っていま
す。ご意見をいただく時は、必ずお名前をお知らせください。ご返事をさ
しあげることが出来ません。以上のような理由から、匿名によるご意見は、
いただきかねますので、よろしくご理解下さい。

9月の
来館者----- 17,453人(視察)
貸出冊数----- 13,558冊
予約件数----- 1914件
ブックバス利用者---- 539人
ブックバス貸出冊数--- 1,567冊

リクエスト情報(お待ち
下さい)
1位. 4と4尋の神隠し(20人)
2位. ハリー・ポッターと秘宝の部屋 (12人)
3位. 模倣犯(4人)
4位. 生き方上手(3人)
5位. 田中真紀子研究(2人)他

10月の行事

2 (水)	絵本のじかん 3:00	大通小 2:20~3:40 程巻小 4:10~4:40	17 (木)	大通小 3:00~3:45 白根北中 4:00~4:40
3 (木)		大通小 3:00~3:45 白根北中 4:20~4:40	18 (金)	白根小 1:20~2:00 小林小 2:30~3:20
4 (金)		白根小 1:00~2:00 小林小 2:30~3:30	19 (土)	市民大学子ども講座16:00 おはなし会 3:00
5 (土)	おはなし会 3:00 新館開館記念 おはなし会 3:30~4:00	新館開館記念 おはなし会 3:30~4:00	20 (日)	Trade 711-マーケットおはなし会
6 (日)	和とじ本展7:30~1:30		23 (水)	新館開館中 2:55~1:40 大通小 4:10~4:40
9 (水)	絵本のじかん 3:00	新館開館中 2:55~3:40 大通小 2:00~4:00	24 (木)	大通中 2:55~1:35 大通小 2:00~2:40 大通中 3:00~3:45
10 (木)		大通中 2:55~1:35 大通小 2:00~2:40 大通中 3:00~3:45	25 (金)	大通中 1:00~2:00 大通小 2:30~3:15
11 (金)		大通中 1:00~2:00 大通小 2:30~3:15	26 (土)	おはなし会 10:00 おはなし会 3:00
12 (土)	おはなし会 10:00 おはなし会 3:00	大通中 2:00~2:30 大通小 2:50~3:20 大通中 3:40~4:10	27 (日)	第24回読書会 13:00
16 (水)	絵本のじかん 3:00	大通小 2:20~3:40 程巻小 4:10~4:40	30 (水)	大通小 2:20~3:40 程巻小 4:10~4:40

第24回読書会

「龍の子太郎」
松谷みよ子 著
絵 田代三善



この歌知っています?
「げげやよい子だ
ぬんぬし
今も昔も変わりになく
母の思ひの子守うた
遠い昔のものがたり
テレビの番組の主題歌
です。この龍の子太郎が
このげげやです。
日本の昔話をやります。
10月27日(日)13:00~13:30
於 白根学館情報研修室
(白根市立図書館 共催)

『和とじ本』を作ってみませんか?
日本古来より伝承されている「こちとじ」
と、和とじ本を作ります。一度読んで
おくと、何にも使えます。
日時・10月6日(日)
午後1:30~4:00
会場・白根学館2F創作活動室1
参加費・300円(材料費)
持って来て下さい→①かたがち
料理のレシピ ②4枚通し
③使えりょう ④長めの針(おとん針の
ように使えます)
申し込みは図書館へ

「十五才学校Ⅳ」上映会と
山田洋次講演会

10/26(土) PM1:00 - PM5:00
白根学習館ラスベックホール

入場料
2,000円
(全席指定)

チケットのお買い求めは—
025-372-5533

三、主催：ラスベック協賛団
共 催：白根市教育委員会
お問い合わせ：025-372-5533

今、この時を逃がさないで
ください。

「十五才学校Ⅳ」を観た人は、

- 〇「たくさんの若い人たちに観て欲しい
と思った」
 - 〇「60歳を過ぎた今でも、生きるとい
うことを考え続けている。講演会が
とても楽しかった」
 - 〇「子育てをしているお父さんお母さん
には、特に山田監督の教育論を
聴いて欲しい」
 - 〇「著書『寅さんの教育論』を読む
と、肩の力を抜いて、子どもと向き
合える気がする」
 - 〇「未来を担う子ども達に、明るく力
強く生きていって欲しいから、ぜひ
子どもと一緒に、講演会を聴きに
行きたい」
- と、声を寄せて下さっています。

～図書館員のおすすめするこの一冊～

「空をとぶ小人たち」 (小人の冒険シリーズ4)

メアリー・ノートン 作 / 林 容吉 訳 (岩波書店)

秋です。読書の秋です。みなさん秋の夜長に本を楽しんでいらつしやいますか？
この「小人の冒険シリーズ」(全5巻)は、読書の秋にびつたりと、読み応えのある楽しい物語
です。私はお正月のゆっくり時間のある時に、5冊全部を読みました。そしてすっかり小人の世界
にはまってしまいました。その中で一番お勧めしたいのが、この「空をとぶ小人たち」です。

自分の楽しみのために、ポットさんは、「リトル・フォードム」という模型の村を作っています。
そのポットさんをうらやんで、お金儲けのために、「バリホッギン」と呼ばれる模型の村を作っ
ているのが、プランターさんです。

二つの模型の村には人形も置いてありました。駅長さんや牧師さん、郵便配達、牛乳屋さん、
・・・それがいつの頃からか、ポットさんの模型の村「リトル・フォードム」に三人の小人が住む
ようになりました。

この小人たちは、自分達の事を「借り暮らし」と呼んでいます。人間から、いろいろな物を拝借
して生活をしているのです。初めはあるお屋敷の床下に住んでいたのですが、転々と引越をして、
リトル・フォードムのブドウ小屋に落ち着きました。(そこまでのおはなしは「床下の小人たち」
「野に出た小人たち」「川をくだる小人たち」で読んで下さい)

借り暮らし達は、自分達がそこに住んでいる事を誰にも気づかれないよ
うにひっそり生活しています。ところがある日・・・

借り暮らしには借り暮らしのルールがあり、それを守っていこうとする
父親ポッド、好奇心が強く冒険好きで、人間とも話してみたい娘のアリ
エッティ、たくさんの物に囲まれた便利な生活にあこがれる母親ホミリー。
小人たちの性格もそれぞれ個性的です。自分の家の床下に、こんな小人た
ちが暮らしでいたら・・・と想像するととっても楽しいです。ぜひ一度
お読みください。

小人たちのその後は「小人たちの新しい家」(小人の冒険シリーズ5)で
お楽しみください。

[933ノ・児童、ティーン]



司書 中川 沙穂里

第二十三回読書会 平成十四年九月二十一日(日)

「ライオンと魔女」

c. s. ルイス 作 (岩波書店)

秋も深まりつつあるこの日7人が集まり、午後の日を浴び
ながら、お茶を片手に会が始まる・・・

「今回の課題図書はあの有名なナルニア国物語の第1巻「ラ
イオンと魔女」でしたが、みなさんどう読まれたか？
おるつ「初めて読んだけど、大人になってるせいかな、純
粋に楽しめなかったですね」

隆吉「僕は二十年前ぶりぐらいに読み返してみました。古典
派・正統派といえるような作品だよな」

おもと「この本は全七冊よね。私、昔読んでた時出版順ではな
くて物語の年代順に読んでしまったの。今回は出版
順に読んで、その方が断然おもしろかった！」

おみや「実はまだ途中で・・・でも今から先が楽しみ。子
どもの時に読みたかったわ」

辰吉「その頃はまだ出版されてないよ(笑)」
おみや「あら、そうだったわね(笑)。ファンタジーって戦
後に出版され始めたから、子どもの時読んでいない
のよね。でもこの本は読んでいて違和感無く読めた
わ」

おかね「確かに読みやすかったわね」
おるつ「最初に言ったことと矛盾するかもしれないけれど、
情景が思い浮かんだらしました」

辰吉「そうそう。タンスの向こうに世界があれば、なんて
思ったよね」

隆吉「食事の場面も美味しそうだったよね。ほんと、外国
の本は楽しそうに書いてあるよね」

「さすがは秋。皆さん食べものには目が無いようですね。
おみや「食べものだけじゃないわ。生活の描写にもすごい憧
れを感じたものよ。この本が出版された当時は、今
のようにむこうの生活が簡単に想像できなかったで
しょ。だから訳者は文章を訳すだけじゃなくて、雰
囲気が伝わるように訳さなきゃ意味が無いって感じ
たわあ」

辰吉「僕はこの本の訳、好きだなあ」
おもと「少しくラシックな言い方が入っていますよね」
おみや「日本語的でない訳も、ありますしねえ」

辰吉「まあ、それはわざとだと思っただけね」
隆吉「そこが古典的な雰囲気を感じ出しているというか」
おもと「そうそう」

辰吉「味がでてるんだよねえ」
おみや「訳といえば、プリンと訳してあるお菓子、本当はど
んなお菓子なのかしら」

おもと「きっとこちそうですよ！」
「さてさて、一体どんなお菓子なのでしょうね。」

後日談
「作品中に出てきた話題の「ターキッシュ・デライト」なる
お菓子。実はトルコ菓子で、英語辞典によれば、
『果汁をゼラチンで角形に固めて砂糖をまぶした、求肥に似
た一種のフルーツゼリー』というものです。」

今の世なら、フルーツゼリーといってもわかりそうなもの
ですが、この本の出版当時(1966年)はもしかしてなかつ
たのでしょうか？

さて、次々回の読書会は？
十一月十七日(日)午後一時三十分から白根学習館にて。課
題図書は「絵本作家・ハンス・フィッシャーの絵本4冊セッ
ト」です。

お楽しみに。

ハンス・フィッシャーは、
「たんじょうび」「こねこのひうち」の
作・絵。「ブレーメンのおんがく
たい」「長ぐつをはいた猫」の
絵。の絵本作家です。
何と素敵なお本を作ったの
だろうと、感激してしまいます。
一緒に楽しみませんか？

